

ほっとらいん
ふるむ
ほんごう

入院患児とその家族を支える「第二の家」 ドナルド・マクドナルド・ハウス

上に増えています。

2011年12月、「ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大」(東大ハウス)が、東京大学医学部附属病院敷地内に誕生しました。自宅から遠方の病院に入院する子どもとその付き添い家族が利用できる滞在施設です。

そのコンセプトは「HOME AWAY FROM HOME」。病児の家族が、自宅と同じように快適な生活を過ごせるように、自炊可能なキッチンやランドリーなどの各種設備と、プライバシーに配慮されたベッドルームが用意されています。費用は1日1000円。運営は、地域ボランティアによって支えられています。

その第1号は、1974年に米国フィラデルフィア州で、マクドナルド店舗オーナー、フットボールチーム、新聞社等が中心となった募金活動によって生まれました。現在は世界各国300か所以上

日本では、2001年に東京都の国立成育医療(現 研究)センターに隣接して「せたがやハウス」が設立されたのが第1号。その後、宮城県、高知県、大阪府、栃木県、北海道、東京都府中市と続いて設立され、本年1月25日から本格稼働を始めた「東大ハウス」が8番目になります。募金でのサポートは、全国のマクドナルド店舗に募金箱が設置されています。

その他、物品でのサポートや寄付金受付の詳細は、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャンのホームページまで。
<http://www.dnhc.jp/>

●「東大ハウス」ボランティア募集

担当…仲野・片岡

03-3812-9877

dnh-todai@diaryoan.ne.jp

